

(財) アジア女性交流・研究フォーラム 調査・研究ライン 2010年度活動報告

(財) アジア女性交流・研究フォーラム (KFAW) 調査・研究ラインは、2010年度の活動として昨年度に新しく立ち上げた2事業を含め、以下の6つの事業を実施しました。

- ①共同研究
 - ②KFAWアジア研究者ネットワーク
 - ③デートDV予防教育ファシリテーター養成講座
 - ④客員研究員研究
 - ⑤研究誌の刊行
 - ⑥研究成果の発信
- ①と④については、調査研究結果をこの号に掲載しています。その他の事業について、以下に報告します。

1. 2010年度KFAWアジア研究者ネットワーク

前期テーマ 「東アジアの経済の動きと女性の政治参画をめぐる」

第1回 2010年6月22日 (火) 18:30~20:00

「東北アジアの胎動と東アジア地中海経済圏」

西南学院大学商学部教授 小川雄平

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者14名) >

第2回 2010年7月27日 (火) 18:30~20:30

「女性は政治にいつ登場するのか? アジアの女性政治家たち」

北九州市立大学大学院教授 田村慶子

「韓国女性の政治参画」

九州国際大学副学長 湯浅壱道

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者17名) >

第3回 2010年8月31日 (火) 18:30~20:00

「グローバル化の中の韓国経済の現状と課題」

筑紫女学園大学アジア文化学科教授 裴海善 (ベ・ヘジョン)

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者16名) >

後期テーマ 「アジアの超高齢化とケアをめぐる状況」

第4回 2010年10月19日 (火) 18:30~20:00

「ドイツにおける移住家事・介護労働者政策—アジアと欧州の交錯—」

ドイツ・マインツ大学社会科学部学術研究員／九州大学法学府訪問研究員 篠崎香子
＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者22名)＞

第5回 2010年12月7日 (火) 18:30~20:00

「過疎山村に住む高齢者の健康とソーシャルサポート再編」

KFAW主席研究員／日本赤十字九州国際看護大学特任教授 篠崎正美

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者12名)＞

第6回 2011年2月22日 (火) 18:30~20:00

「高齢期女性のDV被害の問題状況と社会的対応」

高齢社会をよくする北九州女性の会代表 富安兆子

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム (参加者39名)＞

2. 2010年度デートDV予防教育ファシリテーター養成講座

デートDVの予防教育を担うファシリテーター養成のための講座を開講し、14名の参加者が4回の講座でデートDVに関する法律や基礎知識、ファシリテーターとしての基本的なスキルを学び、模擬授業の実習を行いました。

第1回 1月22日 (土) 10:00~15:00

・開講式

・「デートDV予防教育の必要性と教育の目的」

九州産業大学教授／メープルリーフの会 窪田由紀

・「男女共同参画社会基本法および第三次基本計画について」

北九州市立男女共同参画センター・ムーブ コーディネーター 力武由美

・「DV防止法の内容と未解決の課題」

清和法律事務所 弁護士 窪田弥生

第2回 1月29日 (土) 10:00~15:00

・公開講座「女性に対する暴力—被害の実態と心理」

NPO法人レジリエンス代表 中島幸子

・「現代若者像—コミュニケーションと恋愛観、性行動」

宇部フロンティア大学短期大学部非常勤講師 阪井俊文

第3回 2月12日（土）10:00～16:00

- ・「アサーション—考え方とワーク」
臨床心理士・フェミニストカウンセラー 富永明子
- ・「ファシリテーター—その姿勢とスキル」
NPO法人GGP（ジェンダー・地球市民企画）代表理事 岩丸明江
- ・「デートDV予防教育のモデル授業」
こころの相談室かもみ～る カウンセラー／メープルリーフの会 蒲原くみ恵
九州産業大学教授／メープルリーフの会 窪田由紀
北九州シェルター 代表代行 富安兆子
KFAW主席研究員／日本赤十字九州国際看護大学特任教授 篠崎正美
- ・「デートDV予防教育の授業実習案の作成」
KFAW主席研究員／日本赤十字九州国際看護大学特任教授 篠崎正美

第4回 2月19日（土）10:00～16:00

- ・「模擬授業の実習」
こころの相談室かもみ～るカウンセラー／メープルリーフの会 蒲原くみ恵
九州産業大学教授／メープルリーフの会 窪田由紀
北九州シェルター代表代行 富安兆子
KFAW主席研究員／日本赤十字九州国際看護大学特任教授 篠崎正美
KFAW主任研究員 太田まさこ
- ・閉講式
- ・交流会

3. 研究成果の発信としてセミナーなどの開催

2010年4月25日（日）13:30～15:00

「にっぽんって『先進国』？ 北九州から変えていこう、男女共同参画社会実現に向けて—第54回国連女性の地位委員会に参加して—」

報告者 KFAW理事長 吉崎邦子、KFAW主任研究員 太田まさこ、KFAW企画広報課長 中村雅弘

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム（参加者45名）>

2010年3月1日から12日まで、ニューヨークの国連本部で開催された「第54回国連女性の地位委員会」（CSW: Commission on the Status of Women）、および並行して行われたNGO CSWによる「グローバルNGO女性フォーラム—北京+15」（2月27～28日）とパラレル・イベント（3月1日～12日）に、KFAWから三隅佳子顧問と上記3名が参加しました。

国連第4回世界女性会議が北京で1995年に開催されてから15年目にあたる第54回CSWのテーマは、「ミレニアム開発目標の完全実現に向けて—北京宣言の達成度、北京行動綱領の

実施状況とジェンダーの視点形成に果たす役割の評価」でした。

政府間会合にオブザーバーとして参加し、NGOによるパラレル・イベントでKFAWと韓国忠清南道女性開発政策院が共催したセミナー「女性のエンパワーメントに向けた取り組みと課題—日本と韓国の経験」および参加したセミナーについて、写真やビデオをまじえて報告し、ニューヨークで会議に参加した気分を味わっていただきました。また、現地で出会った各国からの参加者に依頼して撮影した、日本の女性へのビデオ・メッセージの一部も紹介しました。

内容

- ・ 国連女性の地位委員会の概要について
- ・ CSW in ニューヨーク
- ・ NGOによるセミナー
- ・ NGOによるミーティング
- ・ 政府間会合
- ・ にっぽんて「先進国」？

2010年6月26日（土）13:30～15:30

「世界の女性について知ろう・つながろう」

KFAW主任研究員 太田まさこ

<北九州市立男女共同参画センター・ムーブ（参加者11名）>

4月25日のセミナー参加者の方から、女性に関する国際的な動向についてさらに学びたいというご希望をいただいたため、少人数の学習会を開催しました。20歳代から60歳代までの国際問題に関心のある熱心な参加者の方々と情報や意見を共有・交換しました。

内容

第1部 ふりかえりと深まり

第54回女性の地位委員会の内容について、さらに詳しくお伝えします

- ・ CSW54の議論の焦点
- ・ 取り上げられたトピックの傾向
- ・ 参加したNGOによるセミナーの内容紹介
- ・ 世界の女性・男性からのビデオ・メッセージ

第2部 学習会

ジェンダーに関する世界の歴史的な動きについて、学び合います

- ・ 女性差別撤廃条約（CEDAW）
- ・ 1975年の国際女性年から4回の世界女性会議
- ・ 北京会議に参加した人からのお話
- ・ ミレニアム開発目標

2010年11月14日（日）13:00～16:00

「第21回アジア女性会議—北九州 KFAW研究員報告会」

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 大セミナールーム（参加者41名）＞

毎年11月にKFAWが主催している「アジア女性会議—北九州」第21回は「世界の子育て—子ども・親・社会のカタチ—」をテーマにして11月13・14日に行いました。第2日目は、KFAW研究員による調査研究の成果を共有し、参加者との意見交換を行いました。

・「女性のエンパワーメントのためのアプローチ—南アジアの事例から」

KFAW主任研究員 太田まさこ

・「女性の就労行動と社会的ネットワーク—北九州市、福岡市の調査」

KFAW 研究スタッフ 石川勝彦

・「日本の犯罪報道における女性—女性被害者・女性被疑者」

KFAW 2010年度客員研究員／宮崎公立大学准教授 四方由美

・「外国籍の親をもつ子どもの社会包摂—タイ人とフィリピン人の母子からみる福岡の多文化共生」

KFAW 2010年度客員研究員、明治学院大学国際学部准教授 齋藤百合子

KFAW 2010年度客員研究員共同研究者、研究者 パタヤ・ルアンケーオ

・コーディネーター

KFAW主席研究員／日本赤十字九州国際看護大学特任教授 篠崎正美

2011年2月3日（木）18:30～20:30

「インド好き大集合 第2弾」

KFAW主任研究員 太田まさこ

＜北九州市立男女共同参画センター・ムーブ 小セミナールーム（参加者46名）＞

2009年12月に行いました「インド好き大集合」にご参加いただいた方から、「ぜひ第2弾を」という声を多くいただき、2011年1月に太田まさこがインドで実施した現地調査の報告を兼ねて第2弾を開催しました。今回も3名の方に「話し手」としてお申し出をいただき、そして多くのインド好き、インドに興味のある方にお集まりいただきました。インド映画、写真、ビデオ、現地から持ち帰ったものなども見ていただきながら、さまざまなトピックについてお話しする／聞くという非常に盛りだくさんの内容となりました。

4. 第55回国連女性の地位委員会に参加

「教育、訓練、科学、技術への女性・女児のアクセス及び参画」を優先テーマとする第55回国連女性の地位委員会に、篠崎正美KFAW主席研究員が2月26日から3月3日まで参加しました。2月28日には、国際婦人年連絡会、国連NGO国内婦人委員会、日本女性監視機構(JAWW)が開催したパラレル・イベント“Empowerment of Women in Rural Japan”(日本の農村女性のエンパワーメント)においてパネリストとして“Present Conditions and Challenges of Japanese Rural Women”(日本の農村女性の現状と課題)というタイトルで発表しました。

(太田まさこ 記)



セミナー「にっぽんって『先進国』?」と交流会 (2010年4月25日)



セミナー「インド好き大集合 第2弾」とその内容 (2011年2月3日)

インド好き大集合 第2弾

メニユー

2011年2月3日(木)

◎18:30～	・あいさつ ・参加者自己紹介とピクへのリクエスト ・インドの基礎情報 + 地方(内陸・沿岸)による違い(リクエストより)
◎18:35～	(株)九州テックリサーチ エコタウン事業所長 佐藤明史 ・インドでのビジネスを運んで学んだ、生きるということ ・インドにおける環境ビジネスの可能性と難しさ
◎19:20～	Quesada 材料&環境 Linka LLP 桑原佳穂 ・インドのベジタリアン
◎19:35～	(財)アジア女性交流・研究フォーラム 太田まさこ ・インドの女性村会議員 + インドの女性の地位(リクエストより) ・インドの児童労働～コットン畑で働く女の子たち + コットン畑場について(リクエストより)
◎20:00～	・インドのことわざ(泉)
◎20:10～	・生地の製法方法について(リクエストより)(太田)
◎20:20～	・マハラジャの子孫の結婚式(香月多喜子) ・スラムに住んでいる人の顔(リクエストより) ・映画と音楽(リクエストより)
◎質問、共有	
◎20:30	終了

(財) アジア女性交流・研究フォーラム(KFAW) 調査・研究ライン
〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 北九州市大手町ビル3F
Tel. (093) 583-3434, Fax. (093) 583-5195, E-mail: research@kfaw.or.jp



アジア女性研究

創刊号	アジアにおける開発と女性	(1992.3)	1000円
第2号	環境・開発・女性	(1993.3)	1000円
第3号	A 地球の未来と人口問題 B アジアの女性と人口問題	(1994.3)	1000円
第4号	女性と家族	(1995.3)	1000円
第5号	女性と労働	(1996.3)	1000円
第6号	女性とメディア	(1997.3)	1000円
第7号	女性と教育	(1998.3)	1000円
第8号	ジェンダーの視点の主流化をめざして	(1999.3)	1000円
第9号	男女共同参画の世紀を拓く	(2000.3)	1000円
第10号	ジェンダーの主流化に向けて	(2001.3)	1000円
第11号	ジェンダーと健康	(2002.3)	1000円
第12号	持続可能な開発—ジェンダーの視点から	(2003.3)	1000円
第13号	ICTとジェンダー	(2004.3)	1000円
第14号	人間の安全保障とジェンダー	(2005.3)	1000円
第15号	グローバル化とジェンダー	(2006.3)	1000円
第16号	ジェンダーと政治 (ポリティクス)	(2007.3)	1000円
第17号	福祉とジェンダー	(2008.3)	1000円
第18号	科学とジェンダー—主体として、対象としての現在	(2009.3)	1000円
第19号		(2010.3)	配布
別冊	アジア女性学の動向	(2010.3)	配布

Journal of Asian Women's Studies

Volume 1	Women in Development in Asia	(1992.3)	800円
Volume 2	Environment, Development and Women	(1993.3)	1000円
Volume 3	Population and Our Earth's Future Women's Reproductive Rights and Population Problems in Asia	(1994.3)	1000円
Volume 4	Women and Family	(1995.3)	1000円
Volume 5		(1996)	1000円
Volume 6 & 7		(1999)	1500円
Volume 8		(2000.2)	1000円
Volume 9		(2000.12)	1000円
Volume 10	Women/Gender and Globalization	(2001.12)	1000円
Volume 11	Participation and Good Governance; Environmental Issues; from a Gender Perspective	(2002.12)	1000円
Volume 12	Cairo+10: Reviewing Reproductive Health and Rights	(2003.12)	1000円
Volume 13	ICT and Gender	(2004.12)	1000円
Volume 14		(2005.12)	1000円
Volume 15		(2006.12)	1000円
Volume 16		(2007.12)	1000円
Volume 17	Welfare and Gender	(2008.12)	1000円

バックナンバー、その他刊行物については当財団ホームページ
<http://www.kfaw.or.jp/publication>をご覧ください。



財団
法人 **アジア女性交流・研究フォーラム**
Kitakyushu Forum on Asian Women